

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	20	10	40	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	0	0	10	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	10	5	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	10	5	20
	問題を発見・解決する力	0	5	5	10	5	25
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		試験				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習を行う施設の概要についてレポートにまとめる。また、各講義にて実習に関わる課題を提示し、思考力・表現力を評価する。各採点基準は授業時に提示する。				点数化して返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習終了後に、ポートフォリオに準じて学習内容をまとめて発表する。発表方法はパワーポイント等を用いて時間は1人5分程度とする。評価内容は、話す声の大きさ、話す内容、資料の見やすさ、実習内容に基づいたプレゼンとなっているか等とする。				プレゼンテーションの評価結果を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ファイルに目標シート、実習前レポート、実習記録、実習の振り返り、実習の課題をまとめること。評価基準は立案した目標に整合性があること、実習の経験に基づいて振り返り・課題が実施できていること、誤字脱字がなく丁寧に記述できていること等とし、ループリックは事前に掲示する。				点数化して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習中の取り組みについて実習指導者からの学生に対する評価・コメントを基に学内にて評価する。				実習指導者からのコメントを返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村浩司、粕山達也、関口賢人、三科貴博、甘利貴志、遠藤悠介、大塚篤也、坂本祐太、関根聡美						
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	病院やクリニック等において理学療法業務を見学し、理学療法士の仕事内容や対象疾患について学ぶ。加えて、事後学習において理学療法士として病院等で勤務経験を有する教員が成果発表やポートフォリオに対してフィードバックを行い、理学療法士としての基礎的知識を教授する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 ・学外実習時には、実習地の規則を守り、実習指導者の指示に従うこと。注意しても守れない学生は実習を中止する場合がある。 ・学外実習時は大学指定の実習着を着用し、身だしなみを整えること。実習に相応しくない頭髪・服装の場合には、学外実習に参加できない場合がある。尚、実習地より服装の指定があった場合には、実習地の指示に従うこと。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業、学外実習への参加を認めない。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢や講義の進行状況によって、シラバスの内容を一部変更することがある。 						

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】